

(92) 福島県郡山市の日山鉾山跡

これも参考文献(1)に紹介されていた鉾山跡である。これを手引きに、現地の探査を安積石膏鉾山と同日に行った。現地は確認できたが、参考文献中の地形図の鉾山位置を示す赤丸破線の位置が不正確であると判断した。200m程ずれている。廃鉾山の位置は、明瞭な痕跡が視認できないと、10m離れていても確認は難しい。見失ってしまう場合がある。200m以上も離れているとなをさらである。が、現地には砂防ダムがあり、その先にズリ跡らしい場所が林道から視認できたので、この場所が、日山鉾山跡と確信した。

現地への経路は次の通りである。安積石膏鉾山からの帰り道ならば、6号を東に約1km進むと、進行方向右側に、林道への入口がある。高旗山への登山口への入口でもある。この林道に入り、道なりに進んでいくと、約2.3km当たりの所で、林道の左側に大きな砂防ダムがある。その先に林道からでもズリ跡らしいものも見える。この砂防ダムは、ズリの崩落も防ぐために設置されたようである。ここが、日山鉾山跡である。

現地の探査終了後、後日、グーグル・アースで、現地の様子を調査した。図2に、日山鉾山付近の地表写真を掲載している。砂防ダムとズリ跡が明瞭に視認できることがわかる。ついでながら、参考文献(1)に記載されている鉾山跡位置は、雲がかかっている当たりである。

現地は確認できた。ズリもある。坑口跡らしい箇所も確認した。

探査日 2011年 7月、その他



図1 国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。茶色丸がズリ跡。その下に砂防ダムがある。黄緑色は坑口跡と判断した箇所。林道を右下へと進んでいくと、高旗山への登山口にたどり着ける。

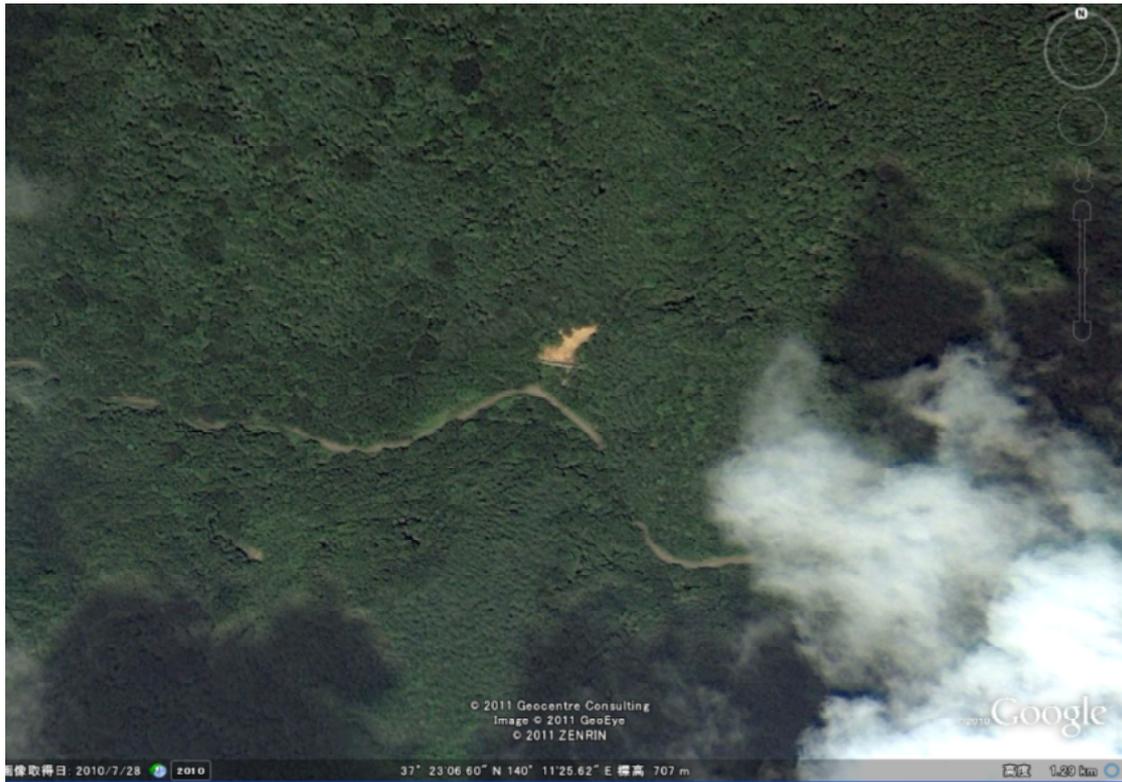


図2 グーグル・アースより。日山鉱山付近の地表写真。林道の直ぐ北に砂防ダム、そしてズリ跡らしい茶色の箇所が視認できる。

鉱山跡写真



写真1 砂防ダムの上に立って、ズリ跡を撮影。ズリ下に降りていくと、鉱石に汚染された石が結構沢山転がっている。良い標本を見つけられなかったので未採集。ズリの上部は、草木が生い茂っているが、結構平坦な場所となっている。



写真2 ズリの上部の平坦部を先に進んでいくと、山肌斜面から突然、水がこんこんと流れ出していた。閉塞され、外形をとどめていない坑口跡で見られるパターンである。周りは平坦地であり、潰れた坑口跡と判断した。

採集鉱物写真

良い標本を見つけられなかったので未採集。

参考文献

(1)「地球の鉱物コレクション イン・フィールド部門(福島県郡山市 安積石膏鉱山)」、デアゴスティーニ。隔週刊。